

- 船舶ファイナンスとは
- 一般的な船舶ファイナンスの流れ
- 今後の進め方

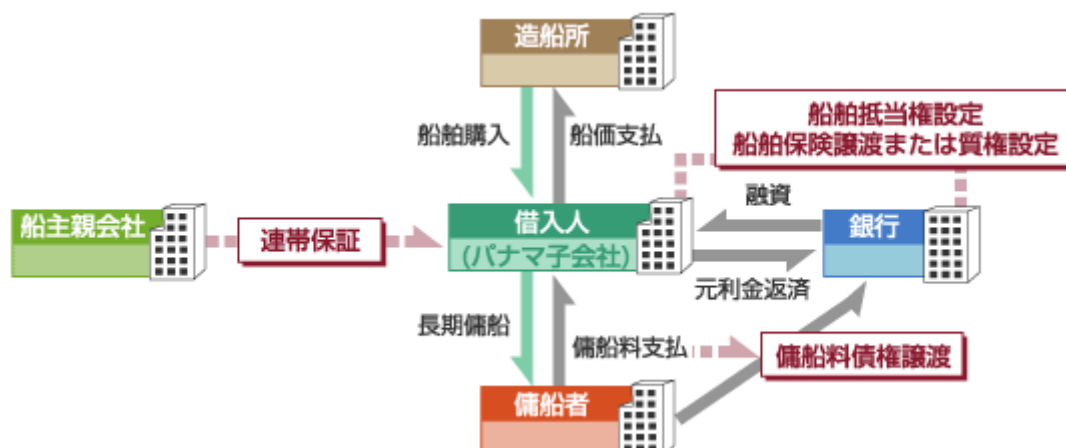
■ 船舶ファイナンスとは

各種担保の設定によりリスクをカバーし、主に傭船料を返済原資とする手法です。

※ 傭船料 船舶を他の会社へ貸し出す際に入金する貸船料。

■ 一般的な船舶ファイナンスの流れ

- 借入人となるパナマ子会社を設立し、親会社・代表者が出資を行います。
- パナマ子会社は銀行と Loan Agreement (金銭消費貸借契約) を締結し、船舶購入資金の融資を受けます。(親会社・代表者は銀行に対し連帯保証いただきます)。
- パナマ子会社は、融資に際し、船舶抵当権、船舶建造契約(または売買契約)譲渡担保(前受金返還保証債権譲渡を含む)、船舶保険債権譲渡担保、傭船料債権(傭船契約)譲渡担保等を提出いたします。
- パナマ子会社は、調達した資金で船舶購入代金を支払い、造船所より船舶の引渡しを受けます。
- パナマ子会社は、購入した船舶を国内外の傭船者に貸渡を行い、傭船者はパナマ子会社に傭船料を支払います。
- パナマ子会社は受け取った傭船料から元利金の返済を行います。



■ 今後の進め方

1. 金利の決定要素

どういった要素があり、何に重点において利子を決められるのか調べる。

2. 資金回収の流れを把握

回収期間など、具体的に一つの船にかかる金銭の動きを調べる。